



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社

上場取引所 東名

コード番号 9048 URL <https://top.meitetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 安藤 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 古橋 幸長

TEL (052)588-0846

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	453,749	1.7	40,121	2.6	41,850	3.9	26,488	3.6
2018年3月期第3四半期	446,289	1.1	39,110	6.4	40,269	5.3	25,578	12.7

(注)包括利益 2019年3月期第3四半期 24,169百万円 (△39.6%) 2018年3月期第3四半期 40,001百万円 (33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	138.48	125.85
2018年3月期第3四半期	139.02	121.46

(注)当社は、2017年10月1日付で株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施しており、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,125,104	410,535	33.7
2018年3月期	1,120,622	389,555	32.2

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 379,035百万円 2018年3月期 360,339百万円

(注)当社は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2018年3月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	27.50	27.50
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				27.50	27.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期及び2019年3月期(予想)の配当金には、特別配当2円50銭が含まれております。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	619,000	2.3	47,500	1.1	49,000	0.9	29,000	1.1	151.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	191,628,768 株	2018年3月期	190,467,450 株
2019年3月期3Q	30,205 株	2018年3月期	27,297 株
2019年3月期3Q	191,282,958 株	2018年3月期3Q	183,996,442 株

(注)当社は、2017年10月1日付で株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施しており、「期中平均株式数」については、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料の入手方法について

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

・日付の表示方法の変更

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(参考)

2019年3月期の個別業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,500	1.5	23,100	6.4	27,500	3.7	20,800	11.6	108.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、流通事業における増収や運送事業でのトラック運賃単価の上昇に加え、鉄軌道事業における輸送人員の増加により4,537億49百万円（前年同期比1.7%増）となりました。営業利益は、燃料費が増加したものの、増収により401億21百万円（前年同期比2.6%増）となりました。経常利益は、支払利息の減少などにより営業外損益が改善し418億50百万円（前年同期比3.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の減少などにより特別損益が悪化したものの、経常増益により264億88百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、新たなグループ中期経営計画「BUILD UP 2020」の策定に合わせ、従来「その他の事業」に含まれていた事業のうち、今後の成長分野として注力していく「航空関連サービス事業」を新たな報告セグメントとして設けております。また、同計画の中で重点テーマにも掲げている「不動産マネジメント事業の強化」を一層進めていくため、「その他の事業」に含まれていた「ビル管理メンテナンス業」を「不動産事業」に含めております。

以下の当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①交通事業

交通事業の営業収益は、鉄軌道事業における輸送人員の増加により1,267億92百万円（前年同期比0.2%増）となり、営業利益は、燃料費が増加したものの、鉄軌道事業における増収や退職給付費用の減少により211億64百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
鉄軌道事業	72,518	71,261	1.8	16,384	14,889	10.0
バス事業	35,161	37,065	△5.1	3,431	4,171	△17.7
タクシー事業	21,965	22,719	△3.3	1,250	1,335	△6.3
調整額	△2,854	△4,495	—	98	117	—
計	126,792	126,551	0.2	21,164	20,513	3.2

②運送事業

運送事業の営業収益は、トラック事業における運賃単価の上昇を主因に1,042億92百万円（前年同期比3.7%増）となり、営業利益は、燃料費や人件費が増加したものの、増収により57億49百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
トラック事業	120,219	116,188	3.5	4,314	4,079	5.7
海運事業	12,857	12,392	3.8	1,392	1,187	17.2
調整額	△28,784	△28,010	—	43	42	—
計	104,292	100,570	3.7	5,749	5,310	8.3

③不動産事業

不動産事業の営業収益は、不動産賃貸業において、駐車場数の増加や新規賃貸物件の収益寄与があったものの、不動産分譲業における分譲マンションの販売引渡戸数の減少により全体では576億26百万円（前年同期比6.4%減）となり、営業利益は71億38百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
不動産賃貸業	34,894	32,998	5.7	7,146	6,939	3.0
不動産分譲業	17,079	22,929	△25.5	△352	291	—
不動産管理業	10,922	10,583	3.2	421	470	△10.4
調整額	△5,270	△4,942	—	△76	△40	—
計	57,626	61,567	△6.4	7,138	7,660	△6.8

④レジャー・サービス事業

レジャー・サービス事業の営業収益は、ホテル業において、名鉄インの新規出店や中部国際空港セントレアホテルの新棟開業などにより増収となったものの、観光施設事業におけるレンタカー事業の子会社譲渡に伴う減収などにより、全体では401億70百万円（前年同期比2.7%減）となり、営業利益は、ホテル業での新規出店に伴う費用の増加などにより16億36百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
ホテル業	14,825	14,052	5.5	1,261	1,401	△10.0
観光施設事業	15,936	17,560	△9.2	778	728	6.8
旅行業	9,925	10,178	△2.5	△418	△365	—
調整額	△516	△498	—	15	15	—
計	40,170	41,292	△2.7	1,636	1,780	△8.1

⑤流通事業

流通事業の営業収益は、建設資材取扱の増加や石油販売価格の上昇により1,069億35百万円（前年同期比8.1%増）となりました。営業利益は、百貨店業における収支改善などにより11億9百万円（前年同期比24.1%増）となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
百貨店業	48,998	48,700	0.6	214	△73	—
その他物品販売	58,727	50,978	15.2	771	797	△3.2
調整額	△791	△790	—	122	169	—
計	106,935	98,888	8.1	1,109	894	24.1

⑥航空関連サービス事業

航空関連サービス事業の営業収益は、航空整備事業や調査測量事業に加え、ケータリング事業での受注増加などにより199億6百万円（前年同期比9.2%増）となり、営業利益は27億65百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
航空関連サービス事業	20,128	18,474	9.0	2,759	2,146	28.5
調整額	△222	△245	—	5	7	—
計	19,906	18,228	9.2	2,765	2,153	28.4

⑦その他の事業

その他の事業の営業収益は、設備工事の受注増加などにより306億17百万円（前年同期比3.6%増）となりました。一方、営業利益は、新規事業拡大に伴う費用の増加などにより2億35百万円（前年同期比40.9%減）となりました。

(業種別営業成績表)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
設備保守整備事業	17,866	17,379	2.8	163	114	43.0
その他事業	13,134	12,661	3.7	96	279	△65.6
調整額	△383	△496	—	△23	5	—
計	30,617	29,543	3.6	235	399	△40.9

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、分譲マンション建設等による分譲土地建物の増加や、設備投資等による有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ44億82百万円増加し1兆1,251億4百万円となりました。

負債は、有利子負債の減少や、工事代金の支払等による支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ164億97百万円減少し7,145億69百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ209億79百万円増加し4,105億35百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、財政状態については遡及適用後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第3四半期までの業績を踏まえ前回公表時（2018年5月9日）より変更しております。

営業収益は、建設資材取扱や石油販売価格の上昇が想定を上回る流通事業を中心に、交通事業、レジャー・サービス事業を除く各事業で上振れを見込み、全体で6,190億円（前回予想比1.6%増）を見込んでおります。営業利益は、マンション販売の利益率が想定よりも上振れる不動産事業を中心に増益を見込み、全体で475億円（前回予想比4.4%増）を見込んでおります。また、経常利益は490億円（前回予想比6.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は290億円（前回予想比7.4%増）を見込んでおります。

業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,589	20,993
受取手形及び売掛金	57,808	61,222
短期貸付金	4,345	4,091
分譲土地建物	57,210	63,043
商品及び製品	8,697	10,318
仕掛品	646	2,124
原材料及び貯蔵品	4,092	4,183
その他	22,935	18,065
貸倒引当金	△289	△268
流動資産合計	178,036	183,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	295,178	287,502
機械装置及び運搬具(純額)	71,305	73,027
土地	362,632	364,981
リース資産(純額)	11,295	10,756
建設仮勘定	41,166	49,862
その他(純額)	7,724	7,420
有形固定資産合計	789,302	793,552
無形固定資産		
施設利用権	6,146	5,235
のれん	1,452	1,656
リース資産	231	186
その他	974	934
無形固定資産合計	8,804	8,012
投資その他の資産		
投資有価証券	116,061	111,241
長期貸付金	641	619
繰延税金資産	13,477	13,720
その他	16,124	15,985
貸倒引当金	△1,827	△1,800
投資その他の資産合計	144,478	139,766
固定資産合計	942,585	941,330
資産合計	1,120,622	1,125,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,163	59,772
短期借入金	55,797	52,823
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
リース債務	2,568	2,198
未払法人税等	9,138	3,524
従業員預り金	19,198	19,752
賞与引当金	5,724	1,723
整理損失引当金	175	259
商品券等引換引当金	1,844	1,862
その他	76,076	88,225
流動負債合計	259,686	240,141
固定負債		
社債	167,180	174,910
長期借入金	170,851	166,394
リース債務	9,971	9,755
繰延税金負債	3,792	3,897
再評価に係る繰延税金負債	56,752	56,833
役員退職慰労引当金	1,323	1,258
整理損失引当金	11,224	10,832
商品券等引換引当金	411	386
退職給付に係る負債	30,718	31,192
その他	19,154	18,966
固定負債合計	471,380	474,427
負債合計	731,066	714,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	95,148	96,268
資本剰余金	29,269	30,428
利益剰余金	117,153	138,439
自己株式	△29	△37
株主資本合計	241,542	265,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,922	24,425
繰延ヘッジ損益	120	△161
土地再評価差額金	88,697	88,538
為替換算調整勘定	△17	△18
退職給付に係る調整累計額	1,073	1,151
その他の包括利益累計額合計	118,796	113,936
非支配株主持分	29,216	31,499
純資産合計	389,555	410,535
負債純資産合計	1,120,622	1,125,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
営業収益	446,289	453,749
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	368,780	373,652
販売費及び一般管理費	38,398	39,975
営業費合計	407,178	413,628
営業利益	39,110	40,121
営業外収益		
受取利息	18	24
受取配当金	1,534	1,607
持分法による投資利益	1,833	2,008
雑収入	1,095	1,234
営業外収益合計	4,482	4,875
営業外費用		
支払利息	2,824	2,614
雑支出	498	531
営業外費用合計	3,323	3,146
経常利益	40,269	41,850
特別利益		
固定資産売却益	775	739
工事負担金等受入額	51	134
投資有価証券売却益	376	14
その他	199	204
特別利益合計	1,402	1,093
特別損失		
固定資産売却損	221	169
減損損失	721	254
固定資産除却損	96	275
整理損失引当金繰入額	-	560
工事負担金等圧縮額	45	109
その他	378	89
特別損失合計	1,463	1,458
税金等調整前四半期純利益	40,207	41,485
法人税、住民税及び事業税	10,457	10,600
法人税等調整額	1,573	1,742
法人税等合計	12,031	12,343
四半期純利益	28,175	29,142
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,597	2,654
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,578	26,488

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	28,175	29,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,691	△4,305
繰延ヘッジ損益	348	△291
土地再評価差額金	-	△186
為替換算調整勘定	△3	△0
退職給付に係る調整額	651	130
持分法適用会社に対する持分相当額	138	△319
その他の包括利益合計	11,825	△4,973
四半期包括利益	40,001	24,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,106	21,600
非支配株主に係る四半期包括利益	2,895	2,568

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	交通事業	運送事業	不動産 事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	航空関連 サービス 事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
営業収益										
外部顧客に対する営業収益	124,817	100,275	53,999	40,110	90,704	18,228	18,152	446,289	—	446,289
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,733	294	7,568	1,182	8,183	—	11,391	30,353	△30,353	—
計	126,551	100,570	61,567	41,292	98,888	18,228	29,543	476,642	△30,353	446,289
セグメント利益	20,513	5,310	7,660	1,780	894	2,153	399	38,712	397	39,110

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、情報処理業、保険代理店業等

2 セグメント利益の調整額397百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	交通事業	運送事業	不動産 事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	航空関連 サービス 事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
営業収益										
外部顧客に対する営業収益	125,053	103,988	49,733	39,055	96,887	19,906	19,125	453,749	—	453,749
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,738	304	7,893	1,115	10,047	—	11,491	32,591	△32,591	—
計	126,792	104,292	57,626	40,170	106,935	19,906	30,617	486,341	△32,591	453,749
セグメント利益	21,164	5,749	7,138	1,636	1,109	2,765	235	39,801	320	40,121

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、情報処理業、保険代理店業等

2 セグメント利益の調整額320百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、新たなグループ中期経営計画「BUILD UP 2020」の策定に合わせ、従来「その他の事業」に含まれていた「航空関連サービス事業」を新たな報告セグメントとして記載し、「その他の事業」に含まれていた「ビル管理メンテナンス業」を「不動産事業」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分により作成したものを記載しております。